

特別協賛 株式会社デンソー

全日本大学サッカー連盟デンソーカップ実行委員会発行

<http://www.denso.co.jp/DENSOCUP2000/>

<http://college-soccer.com/>

2002年ワールドカップ日韓共催記念



デンソーカップサッカー2000

ニューズレター volume 1

2000年4月9日「横浜決戦」!

ワールドカップ決勝戦開催の地に日韓の大学オールスターが集う!

今回で4回目を迎えるこの大会。決戦の舞台を2002年日韓共催ワールドカップ決勝の地、横浜に移して開催されることとなりました。

両チームの闘志あふれる戦いに声援を! スタジアムに足を運んで、この熱気と興奮を感じてください。

2002年ワールドカップ日韓共催記念 デンソーカップサッカー2000

2000年4月9日(日) 13:30 キックオフ 横浜国際総合競技場

全日本大学選抜チーム vs 全韓国大学選抜チーム



写真提供: Office NID 飯嶋玲子

開催要項(抜粋)

名 称: 2002年ワールドカップ日韓共催記念 デンソーカップサッカー 2000
主 催: 財団法人日本サッカー協会・全日本大学サッカー連盟
共 催: 朝日新聞社・東亜日報社
主 管: 関東サッカー協会・神奈川県サッカー協会横浜サッカー協会
関東大学サッカー連盟・神奈川県大学サッカー連盟
後 援: 文部省
横浜市・横浜市教育委員会日刊スポーツ新聞社・テレビ東京
2002年 FIFA ワールドカップ日本組織委員会横浜支部
特別協賛: 株式会社デンソー
協 賛: 全日本空輸・アシックス・大塚製薬・ミカサボール
会 場: 横浜国際総合競技場
〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 TEL 045-477-5000
(横浜国際総合競技場スタジアムガイドより転載)
JR 小机駅より徒歩 7 分
JR 新横浜駅より徒歩 14 分
新幹線新横浜駅より徒歩 14 分
地下鉄新横浜駅より徒歩 12 分

連絡先 : 全日本大学サッカー連盟

〒160-0023

東京都新宿区西新宿4-7-17メゾン・ド・ブロンシエ B1

TEL 03-3378-6355 FAX03-3378-6596

関連ホームページ:

(株)デンソー <http://www.denso.co.jp/DENSOCUP2000/>

カレッジサッカーセントラル <http://college-soccer.com/>

日本サッカー協会 <http://www.jfa.or.jp/>

神奈川県サッカー協会 <http://www.kanagawa-fa.gr.jp/>

横浜国際総合競技場 <http://www.city.yokohama.jp/me/sports/skj.koku.html>

JAWOC 横浜支部 <http://www.city.yokohama.jp/me/w-cup>

デンソーカップ概要

『デンソーカップサッカー2000』に出場する全日本大学選抜チームは、3月8日(水)~12日(日)に宮崎県西都市・綾町で開催される『デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会』に集う全国9地域から選抜された、128名の大学サッカーマンの中から選出されます。この大会後に編成される「全日本大学サッカー選抜チーム」は、オーストラリア・アデレードにて海外キャンプを行なったのちに、この大会に臨みます。

昭和62年(1987年)3月10日~13日、寒風吹く愛知県「トヨタスポーツセンター」に、トヨタ自動車サッカー部の協力を得て、全国9地域から大学地域選抜チームが集まった。正真正銘の「全日本大学選抜チーム」を作るためである。

これは、前年に始まった『中京テレビ杯全日本大学サッカー・オールスター東西対抗戦』を契機とし、全日本大学サッカー連盟が初めて組織的に取り組んだ強化事業であった。

中京テレビの協力でスタートしたこの大会も、その後佐賀県唐津市の熱心なお誘いにより大会の基礎が出来上がり、平成4年(1992年)からは株式会社デンソー(当時・日本電装株式会社)の特別協賛により本格的な支援を受け『日本電装カップチャレンジサッカー大会』として飛躍的な発展を遂げ、今日の『デンソーカップサッカー大会』に至っている。

現在の『デンソーカップサッカー大会』次の3つの行事から構成される。

1 デンソーカップチャレンジサッカー(全日本大学サッカー選抜チームの選考)

全国9地域の大学選抜チームによる対抗戦。この大会の優秀選手が全日本大学選抜チームの一員となる。

1992年 鹿児島県(鹿児島市、鹿屋市) 1993年 佐賀県(唐津市) 1994年 愛媛県(松山市)
1995年 福岡県(福岡市、春日市) 1996年 愛知県(名古屋市、刈谷市) 1997年 福岡県(福岡市)
1998年 沖縄県(石垣市) 1999年 福島県(楡葉町) 2000年 宮崎県(西都市・綾町)

2 デンソーカップ海外キャンプ(全日本大学サッカーチームの強化)

国際的なサッカーのレベルを経験する海外での武者修業。

1992年 中国 1993年 ブラジル 1994年 イタリア 1995年 フランス
1996年 中米3カ国(コスタリカ、トリニダード・トバゴ他) 1997年 イタリア 1998年 アメリカ合衆国
1999年 スペイン 2000年 オーストラリア

3 デンソーカップサッカー(全日本大学サッカーチームの成果を披露)

国際試合の国内開催をする。

1997年 全日本大学選抜1 - 0 全韓国学生選抜(国立西が丘サッカー場)
1998年 全日本大学選抜0 - 1 全韓国学生選抜(国立霞ヶ丘競技場)
1999年 全日本大学選抜0 - 1 全韓国学生選抜(国立霞ヶ丘競技場)

この3つの行事により構成される『デンソーカップサッカー大会』は、大会趣旨にある「学生スポーツマンとしてのプライドの育成」、「学生としてのスケールアップ」、「インターナショナルなセンスの養成」を達成すべく多いに成果をあげている。この大会は、日本を代表する多くの選手の登竜門となり、ついに平成4年(1995年)ユニバーシアード福岡大会では「日本サッカー界で初の金メダル」を獲得する偉業を成し遂げた。

Play back DENSO CUP 97 - 99

プレーバック デンソーカップ 97 - 99 第1回

「デンソーカップサッカー97 盛田の一撃で、”実力派集団 韓国大学選抜”を制す」

1997年4月13日(日)13:30キックオフ 国立西が丘サッカー場

全日本大学選抜 1 - 0 全韓国学生選抜 得点: 47分 日本 盛田剛平 (アシスト 横山)

95年ユニバーシアード福岡大会決勝戦(日本 2-0韓国)の雪辱に燃える韓国学生選抜は、試合早々から激しい出足でプレッシャーをかけ、まず試合の主導権を握った。韓国のシンプルで速い攻撃は、日本を圧倒しマイボールを有効に展開できないまま前半は0 - 0で終了した。

後半 小林慶行(現ベルディ川崎)に代わって、川勝博康(現京都パープルサンガ)を投入、

盛田剛平(現浦和レッズ)を攻撃的 MF の位置に下げる布陣で挑む。これが功を奏して後半2分左サイドをドリブル突破した 横山博敏(現ジェフ市原)からのセンタリングを第2列からゴール前へ

飛びこんだ 盛田が見事にヘディングで決め、劣勢の日本が先制した。途中韓国はペースダウンしたものの最後の10分には波状攻撃を仕掛け日本ゴールに迫った。GK 阿江孝一(現ガンバ大阪)、CB 藤崎義孝(現アビスパ福岡)を中心とする日本守備陣が守りきり初勝利に導いた。

この大会韓国チームの司令塔として活躍した アン・ジョワン(現 K リーグ 大宇釜山韓国代表)は、先日行なわれた「2002年IFA ワールドカップ日本・韓国 予選抽選会」にも韓国代表のドローとして来日し、次回ワールドカップでの活躍が期待されている。